

シーロメータ CVS-CL31 / CVS-CL51

概要

コンパクトで軽量のシーロメータ CVS-CL31/51 は、雲底高度または鉛直視程を測定し、同時に 3 つの雲の層を検知することができます。CVS-CL31/51 はパルスダイオードレーザーLIDAR (光検出と距離測定) 技術を採用しており、気象観測や空港管理、航空気象観測、ヘリポートなどの運用用途、および空港設置事前調査に最適です。

特徴

- 第 2 世代の先進的なシングルレンズ光学が低高度でも優れた性能を発揮
- 全天候下における高い信頼性 降水時の鉛直視程と雲検知
- 迅速な計測により厚い雲の下にある薄い雲の層も検知可能
- 設置とメンテナンスが容易なモジュラー設計
- 故障解析を備えた広範な自己診断機能
- 現場で実証済みの、全天候型で 24 時間 365 日の完全自動稼働
- 米国連邦航空局 (FAA) による認定と導入 / 米国気象局が採用



CVS-CL31



CVS-CL51

CVS-CL51 の特徴

- 13km (4 万 3,000 フィート) までの雲レポート
- 15km (4 万 9,200 フィート) までの全範囲にわたるバックスキャッタープロファイリング
- 巻雲の検知

仕様

形式	CVS-CL31	CVS-CL51
性能		
計測範囲	0~7.5km(0~25,000 フィート)	0~13km(0~43,000 フィート)
バックスキャッター範囲	0~7.5km	0~15km
レポート分解能	5m/10 フィート	10m/30 フィート
レポート周期	2~120 秒にプログラム可能	6~120 秒
ハードウェアに対する距離測定精度	±1%/±5m いずれか大きい方	
レーザー	InGaAs ダイオード、波長 910nm	
レポート数値	雲の検知 (3 層まで)、ステータス情報	
	雲の検知、ステータス情報、バックスキャッタープロファイル	
	Sky condition(本体オプション) *	
動作環境		
温度	-40°C~+60°C	-55°C~+60°C
相対湿度	0~100%RH	0~100%RH
風速	55 m/s	55 m/s
入出力		
供給電源 / 消費電力 / バッテリー	100/115/230 VAC 50-60Hz / 最大 310W(ヒーター電源を含む) / 2Ah	
信号出力	RS-232/RS-485/Modem/LAN(option)	
基本構造		
寸法：全体 / 計測ユニット	1,190mm x 335mm x 324mm 620mm x 235mm x 200mm	1,531mm x 364mm x 354mm 834mm x 266mm x 264mm
質量：全体 / 計測ユニット	32 kg / 13 kg	46 kg / 18,6 kg
ハウジングクラス	IP65	IP65
傾斜角度	鉛直または傾斜 12°	-
オプション 機器		
ケーブル端末ボックス(過電圧保護付き) Termbox-1200PC / 接続メンテナンスケーブル QMZ101 船舶用衝撃吸収取り付け台座 CT35022 / モデム DXL421 / 鳥よけ CL31BIRDKIT シーロメータ用グラフィカル・ユーザー・インターフェース CL-VIEW / シーロメータ用境界層表示ソフトウェア BL-VIEW エアクオリティプラグ・アンド・プレイパッケージ CLAQPACKAGE (シーロメータ用 CL-VIEW と BL-VIEW の機能がプリインストールされたノートパソコン)		
オプション * Sky Condition		
本体に内蔵する層別雲量計算アルゴリズムファームウェア 5 分毎に 30 分間の移動計測結果より演算(最新 10 分に 2 倍の加重) 出力：1-3 各層の雲量(0-8) 9:鉛直視程		